

## 客観的指標評価(統計データ)

公表されている各種統計データのうち、建設産業に関連するものを指標項目として設定。

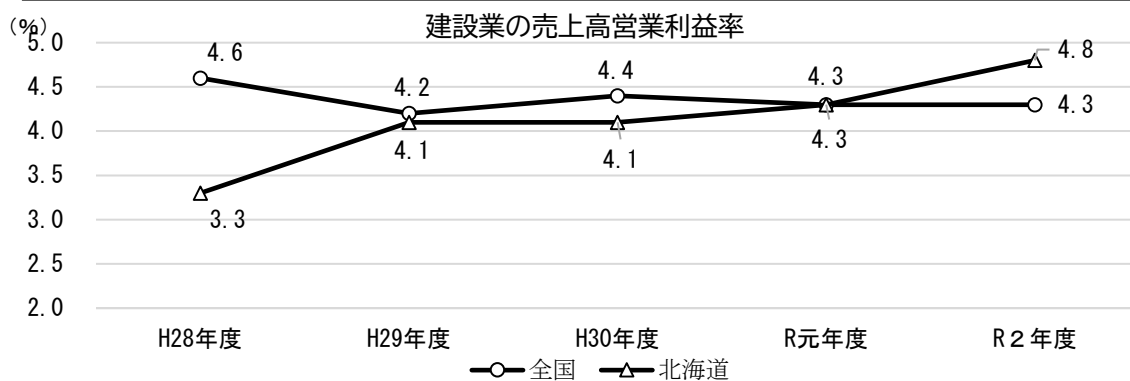
◆ 13施策の効果を指標値により客観的、定量的に把握し3段階で評価した。

## 1 将来に続く経営力の強化

## (1) 経営力の向上

## 【指標】売上高営業利益率

建設産業が持続的に発展していくためには、建設企業の利益を確保し、経営の安定を図る必要があることから設定



※売上高営業利益率＝営業利益／売上高×100

(出典：全国：財務省「年次別法人企業統計調査」 北海道：北海道建設業信用保証(株)調)

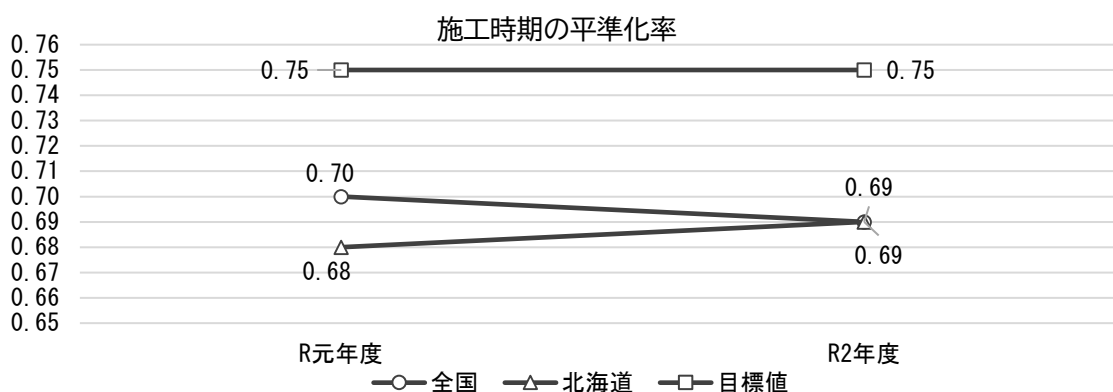
## 【評価】

H28年度からH30年度は全国を下回っていたが、R2年度は上回っている(評価A)

## (2) 生産性の向上

## 【指標】地域平準化率

公共工事では、年度内の時期によって工事の繁閑に大きな差が生じ受注者の人材や資機材の効率的な活用等に支障を及ぼす要因となることから設定



(※算出方法：(4～6月期の工事平均稼働件数) / (年度の工事平均稼働件数))

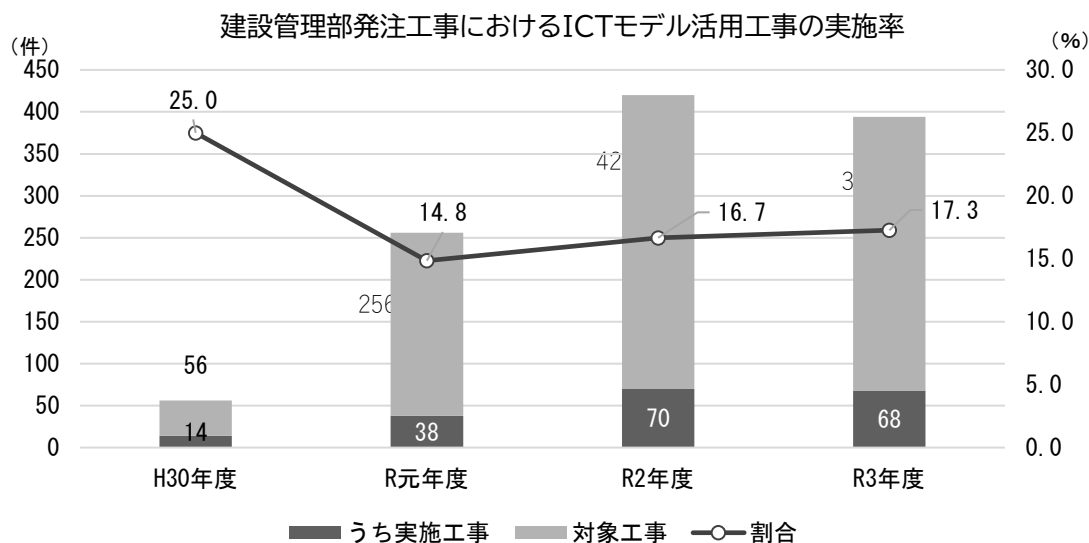
(出典：国土交通省北海道開発局)

## 【評価】

前年より上昇し全国を上回っているものの、目標値を下回る(評価C)

**【指標】 ICTモデル活用工事の実施率**

建設企業が限られた人材等を有効活用するためには、ICTを活用した現場の生産性を向上させる必要あることから設定



(出典：北海道建設部建設管理課)

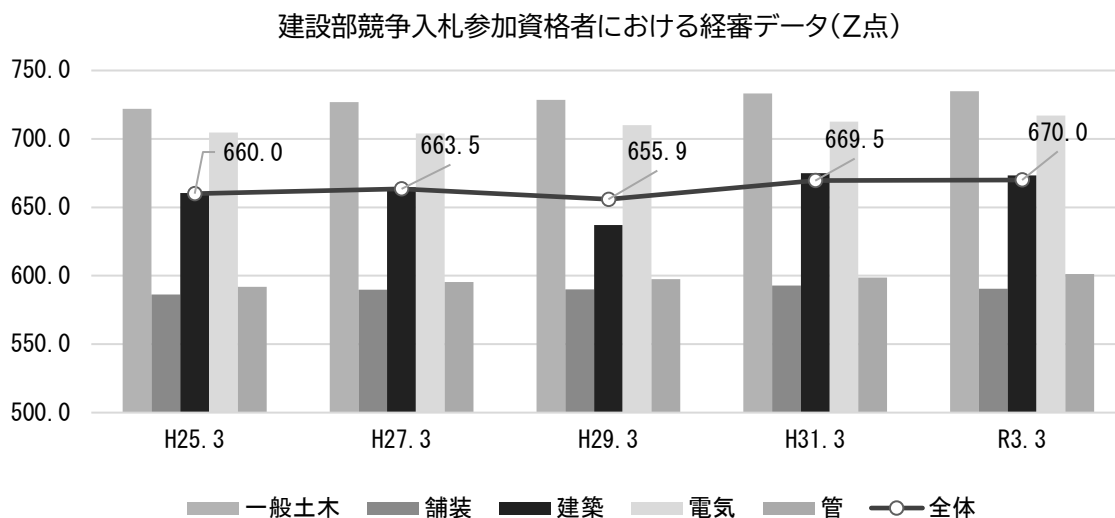
**【評価】**

本格実施したR元年度から微増しており、やや上昇傾向にある (評価B)

**(3) 技術力の向上**

**【指標】 経営事項審査における技術力評価 (Z点)**

良質な社会資本の継続した整備や工事の品質確保のためには、建設企業の技術力の向上が必要なため設定



(※Z点：技術者数(8)、元請完工高(2))  
(出典：北海道建設部建設管理課)

**【評価】**

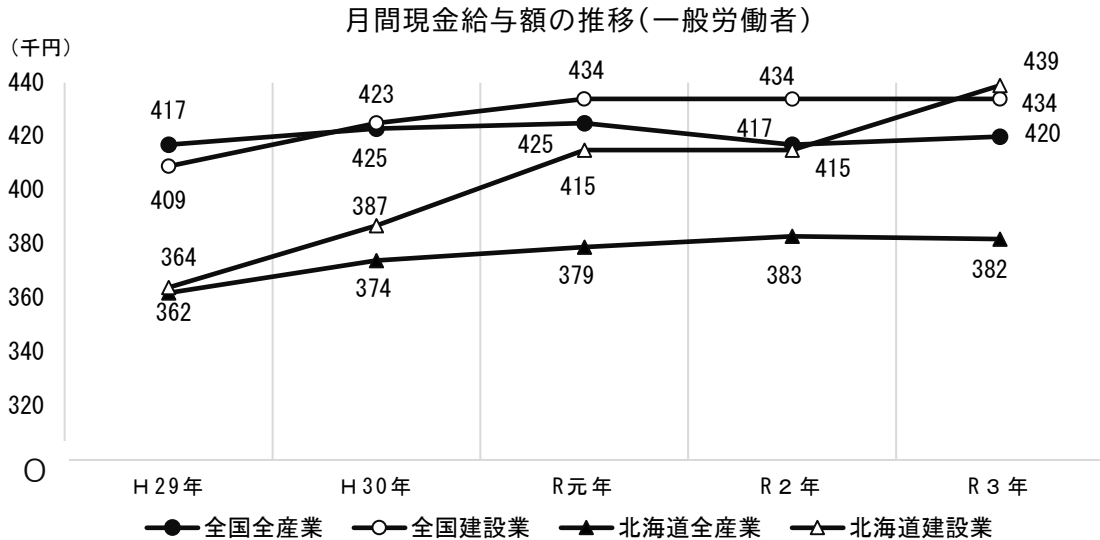
近年は微増しており、やや上昇傾向にある (評価B)

## 2 技術をつなぐ担い手確保・育成の強化

### (1) 誰もが輝ける働き方改革の推進

#### 【指標】月間現金給与額・月間実労働時間

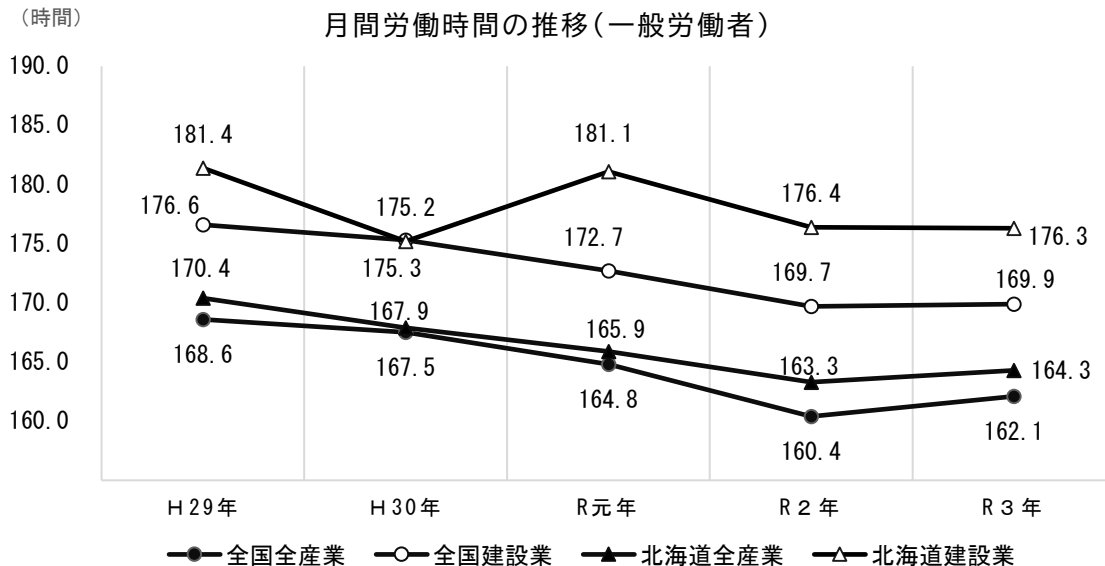
継続的な人材の確保・育成のためには、就業環境の改善により働き方改革を進め、入職促進や定着を図る必要があることから設定



(出典：全 国：厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
北海道：北海道総合政策部情報統計局「毎月勤労統計調査地方調査」)

#### 【評価】

R3年度は前年より上昇し、全国の全産業や建設業を上回っている(評価A)



(出典：全 国：厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
北海道：北海道総合政策部情報統計局「毎月勤労統計調査地方調査」)

#### 【評価】

国の全産業、建設業及び道内全産業を上回る時間となっている(評価C)

**(2) 技術をつなぐ担い手の確保**

**【指標】 新規高等学校卒業者の平均就職内定者数（各年3月末）**

就業者の高齢化が進行しており、新規学卒者の入職を促進する必要があることから設定

- ・ 現状値 H28～R2 平均就職内定者数 754 人<累計 3,711 人>
- ・ 目標値 R3～R7 平均就職内定者数 830 人<累計 4,150 人>

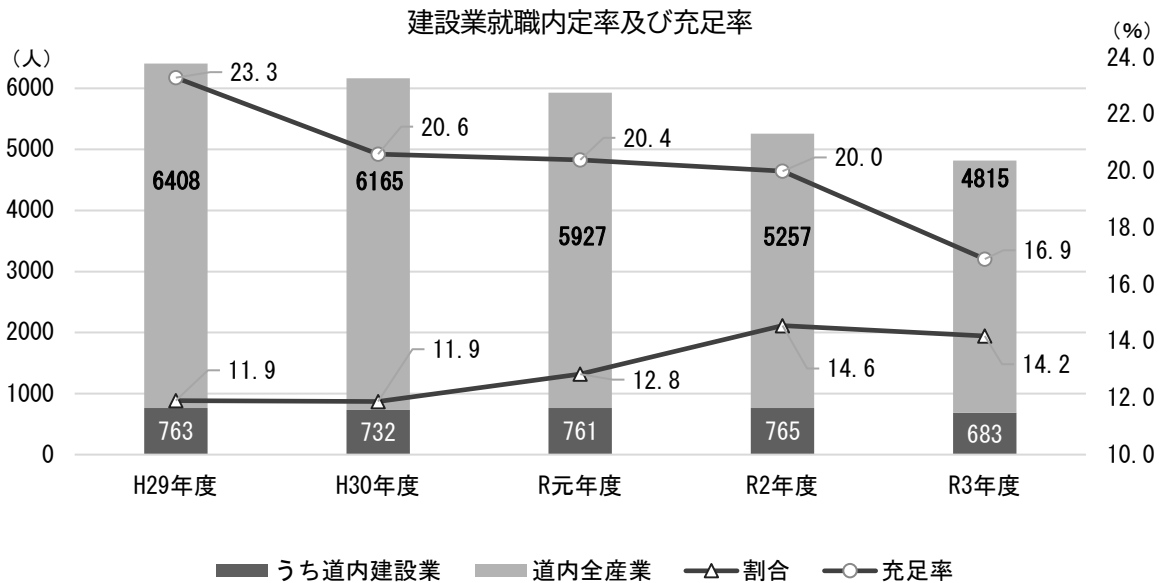
(※北海道総合計画における指標)

(出典：厚生労働省北海道労働局「新規高等学校卒業者の職業紹介状況」)

**【評価】**

H28 年度から R2 年度の平均 754 人に対し、R3 年度は 683 人に減少し厳しい状況 (評価 C)

**【指標】 道内新規高等学校卒業者の建設業就職内定率及び充足率**



(出典：厚生労働省北海道労働局「新規高等学校卒業者の職業紹介状況」)

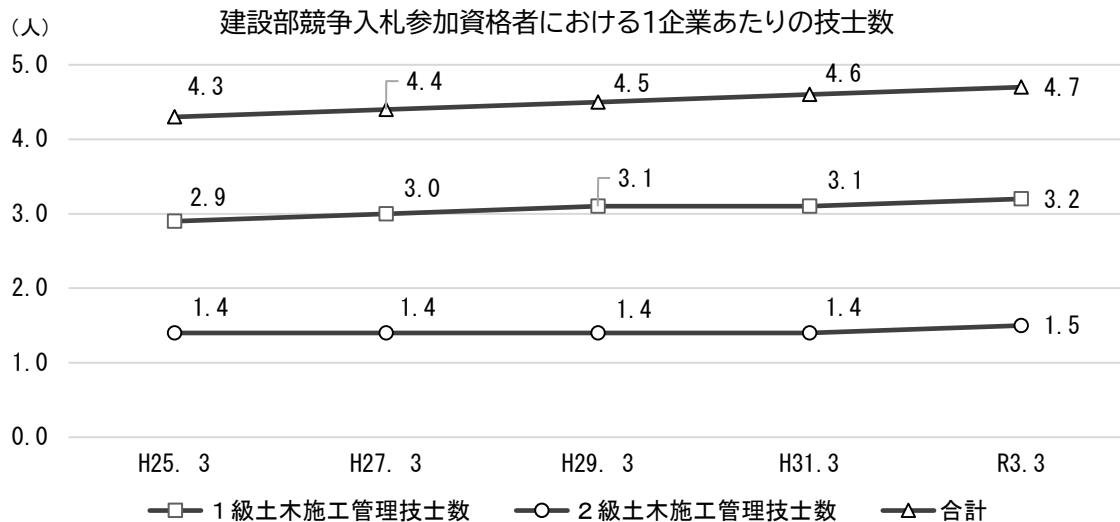
**【評価】**

内定率は、H29 年度の 23.3% から年々減少しており、R3 年度は 16.9% と厳しい状況 (評価 C)

### (3) 技術をつなぐ担い手の育成

#### 【指標】 1・2級土木施工管理技士数

資格取得の支援等による就業者がスキルアップできる就労環境を整備し、就労継続を図る必要があることから設定



(出典：北海道建設部建設管理課)

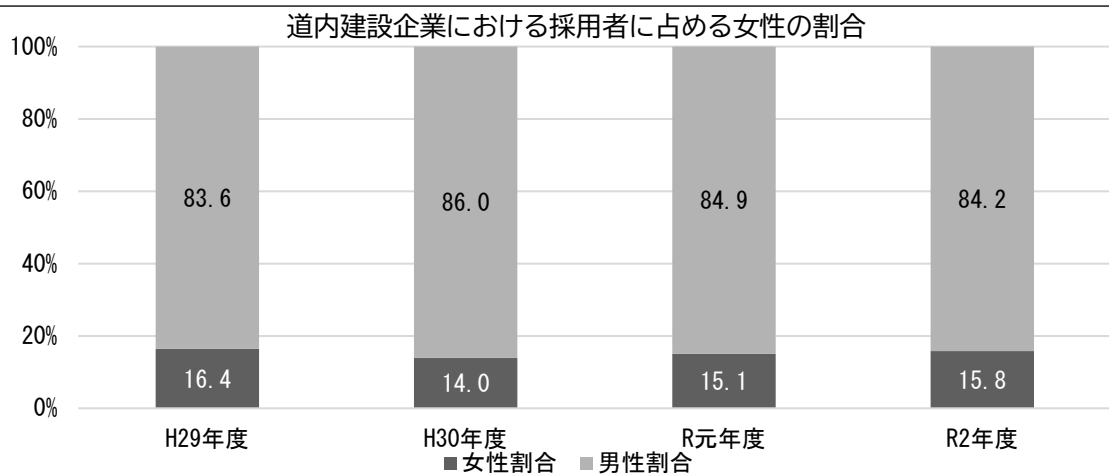
#### 【評価】

1級、2級ともに微増であるが上昇傾向にある（評価B）

### (4) 北の輝く女性の活躍推進

#### 【指標】 採用者に占める女性の割合

多様な担い手の確保に向けて、女性の活躍を推進する必要があることから設定



(出典：北海道建設部建設管理課)

#### 【評価】

採用者に占める割合は低いものの、近年は増加傾向にある（評価B）

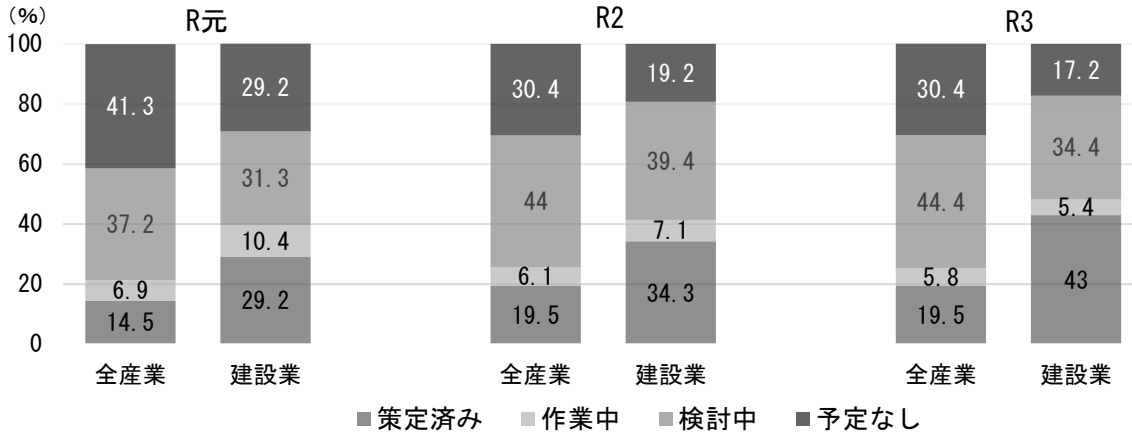
### 3 地域の安全・安心の確保

#### (1) 地域力の強化

##### 【指標】 事業継続計画（BCP）の策定率

災害対応等における「地域の守り手」としての建設産業の役割を果たしていくため、各企業が災害時に速やかに対応できる体制を構築する必要があることから設定

道内建設企業におけるBCPの策定



(出典：北海道経済部経済企画局経済企画課「企業経営者意識調査」)

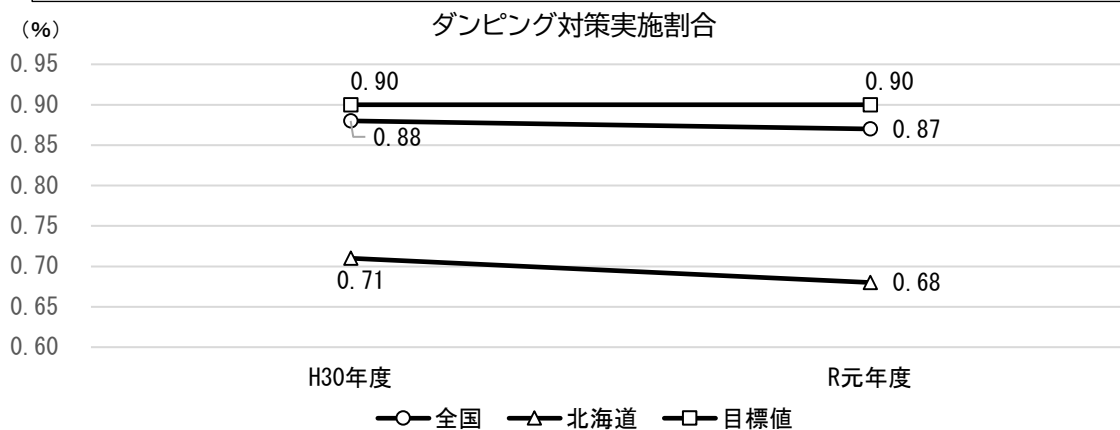
##### 【評価】

「策定済」企業が増加し、「策定予定なし」企業は減少している（評価A）

#### (2) 市町村との連携強化

##### 【指標】 低入札価格調査基準又は最低制限価格の設定割合

地域の建設企業の適正な利潤の確保のためには、市町村工事も含めたダンピング対策が必要なことから設定



(※北海道：北海道及び市町村発注工事)

(出典：国土交通省北海道開発局)

##### 【評価】

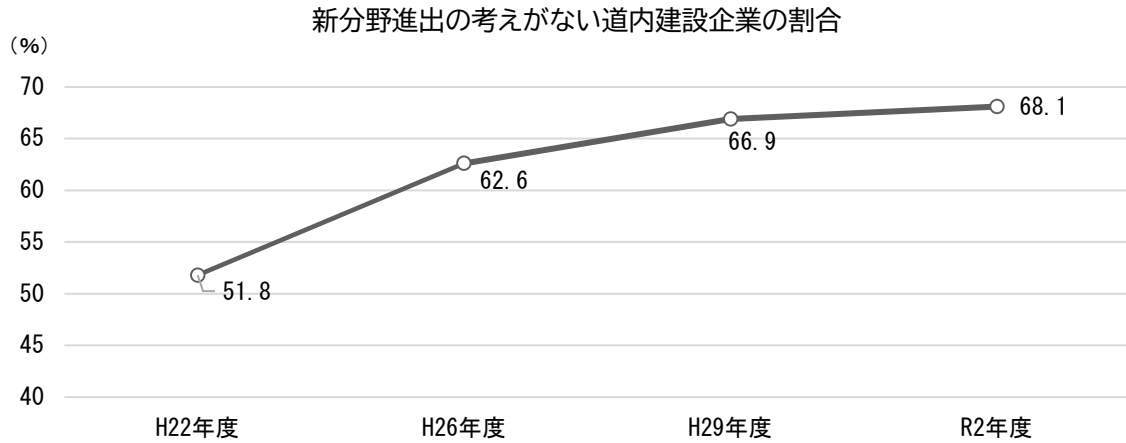
全国的にも、実施率は低い状況が続いている（評価C）

## 4 建設産業の環境整備

### (1) 新分野や道外への進出

#### 【指標】新分野進出への取組状況

多くの建設企業が本業の強化を経営方針としており、新分野進出の意向を把握する必要があることから設定



(出典：北海道建設部建設管理課)

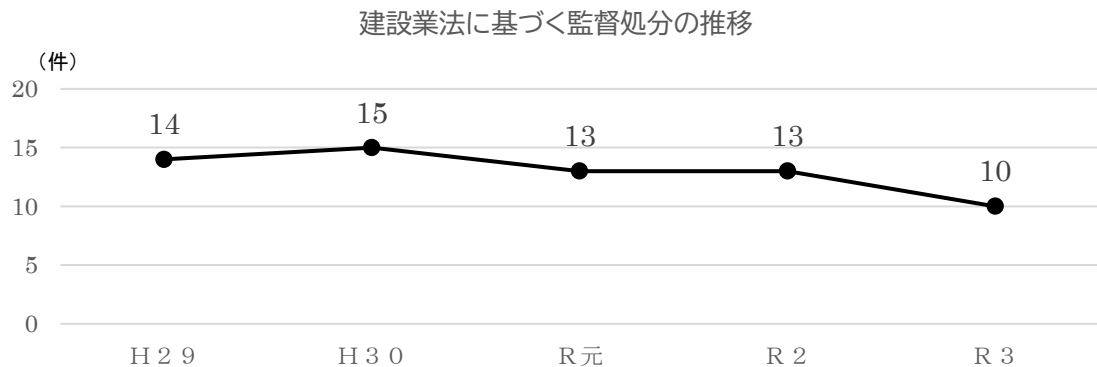
#### 【評価】

新分野進出の考えがない企業が増加し、本業重視の傾向にある（評価C）

### (2) 法令遵守の徹底、(3) 適正な施工体制、(4) 不良・不適格業者の排除

#### 【指標】建設業法に基づく監督処分 の推移

建設産業の健全な発展のためには、法令遵守の徹底を図る必要があることから設定



(出典：北海道建設部建設管理課)

#### 【評価】

H29年度の14件から年々減少し、R3年度は10件となっている（目標：年々減少させる）（評価A）